

短 報

食道粘膜基底細胞過形成の免疫組織学的同定 —食道癌の粘膜内伸展・上皮内癌との鑑別への応用—

長岡中央総合病院、病理部；病理医

いからしとしひこ
五十嵐俊彦

食道粘膜下層に限局して異型細胞が認められる場合、その病変が食道癌の粘膜内伸展や上皮内癌などの悪性病変であるのか良性病変であるのかの組織学的鑑別は、通常のヘマトキシリン・エオジン染色標本では極めて困難である。今回、進行性食道癌の主病変に連続する口側に認められ、その為、口側切除断端の組織学的評価が困難であった良性基底細胞過形成病変を経験したので、確定診断に有用であった免疫組織学的同定手段について報告する。

症例は、52才、男性、進行性食道癌で、食道中下部・噴門側胃切除術及びリンパ節廓清が施行された。摘出標本（H07-18617）の病理学的組織診断は、Mt、3.4x3x1.3cm、2、mp、扁平上皮癌、G2>G1、int、infβ、ly0、v0、pm? (ie+?)、dm0、rm0、n0であった。病理組織診断上の問題点は、口側切除断端まで進展する6.5cm長のIIB病変で、粘膜下層1/3を占拠する異型増生細胞層を粘膜内癌伸展として切除断端陽性と判定するか、良性病変とするかであった。

確定診断目的として、免疫組織学的検討を加えた。4病変（正常扁平上皮粘膜、進行癌巣に隣接する上皮内伸展巣、進行癌巣、本件で問題とされた粘膜下層1/3異型増生細胞層粘膜）に関して、免疫学的に基底細胞層、悪性細胞、細胞増殖帯を同定し、比較することとした。具体的な使用一次抗体は、以下の3種類である(1)：1.基底細胞同定用抗p63抗体（ダコ社）：前立腺基底細胞、乳管筋上皮細胞、重層扁平上皮や尿路上皮（移行上皮）の基底細胞の核に陽性となる。2.癌標識用抗p53抗体（ノボカストラ社）：癌抑制遺伝子で、正常細胞では正常のp53蛋白は非常に半減期が短く、免疫染色で陽性となるような量は存在しないが、p53のmutationによる異常p53はwash outされず核内に蓄積する。他の原因によるp53の安定化でも陽性となる。良悪性の判断材料の補助として用いられる。びまん性の陽性像はmalignancyを示唆することが多い。陰性はほとんど意味がない。少数の陽性も重要ではない。3.増殖期・増殖帯同定用抗Ki-67（MIB-1）抗体（ダコ社）：細胞増殖周期の主にG1、さらにSからM期までの細胞の核内に認められ、その陽性率（Labeling index）細胞増殖能の指標となる。

免疫染色の結果、最深部基底膜より表層に向かって、正常扁平上皮粘膜は1層の基底層、2層目の増殖帯が同定され、癌標識は陰性であった(図)。癌病変はいずれも重層した基底層と増殖層が認められ、癌標識陽性であった。本件で問題とされた粘膜下層1/3異型増生細胞層は、基底細胞層の重層化と増殖帯の挙

上を示し、癌標識は陰性であった。すなわち、正常粘膜パターンが保持されており、良性の基底細胞過形成と診断できた。

食道粘膜内癌の組織学的診断において、基底細胞過形成との鑑別は重要である。すなわち、基底細胞過形成を癌として過剰診療することを回避できうる。この点において、免疫組織学的検討は有意義であると考えられた。

キーワード：食道癌、扁平上皮癌、粘膜内病変、粘膜内伸展、上皮内癌、基底細胞過形成、免疫組織学的検査、p63、Ki-67、p53

文 献

1. 北海道大学病院病理部、診断病理&免疫組織化学総合データベース immu~no, <http://gdi.med.hokudai.ac.jp/>

英 文 抄 録

Brief Report
Immunohistochemical confirmation of basal cell hyperplasia in esophagus to discriminate from intraepithelial spread of invasive carcinoma and intraepithelial carcinoma Nagaoka Central General Hospital, Department of Pathology; Pathologist
Toshihiko Ikarashi

On the therapeutic approach of squamous cell carcinomas of esophagus intraepithelial carcinoma should be microscopically differentiated from basal cell hyperplasia. The basal cell hyperplasia could be confirmed immunohistochemically with positive p63 of diffuse distribution, positive Ki-67 with upward proliferative zone, and negative p53.

Key words: carcinoma of esophagus, squamous cell carcinoma, intraepithelial lesion, intraepithelial spread, intraepithelial carcinoma, basal cell hyperplasia, immunohistochemical examination, p63, Ki-67, p53

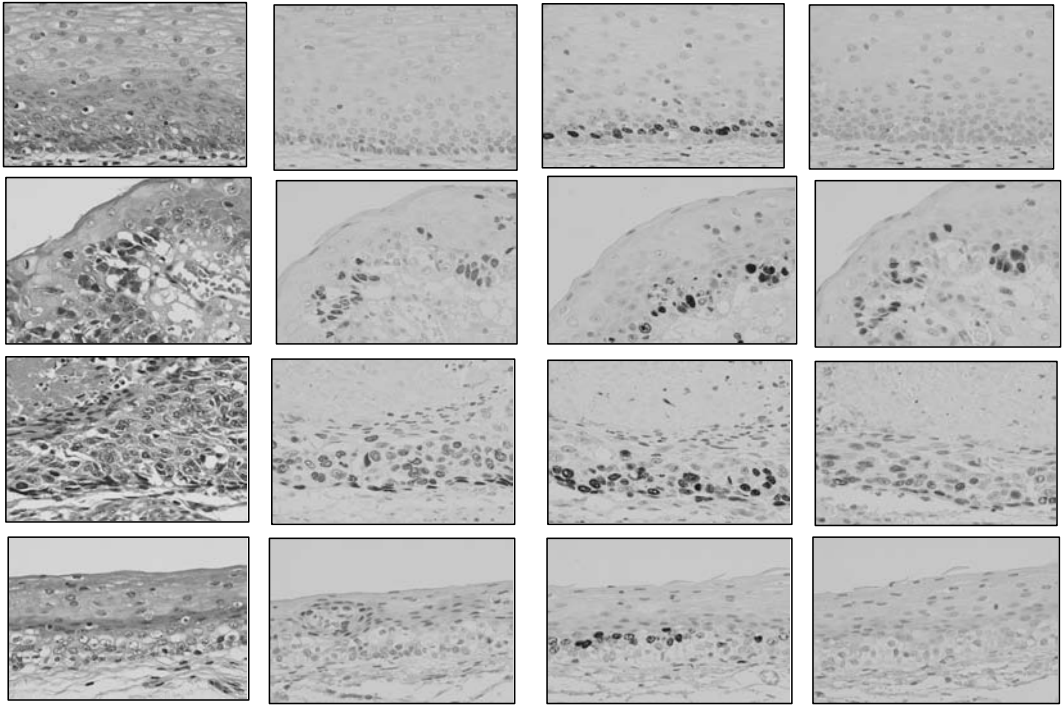


図. 上段より、1. 正常上皮、2. 上皮内癌伸展、3. 浸潤癌、4. 基底細胞過形成。
左列より、1. HE 染色、2. 基底細胞 (p 63)、3. 増殖細胞 (Ki-67)、4. 癌細胞 (p 53)

(2007/11/14 受付)